

市議会だより なかま

No.183

Shigikaidayori NAKAMA
2022. 8. 10

<http://www.city.nakama.lg.jp>



中鶴一区（中鶴一区集会所前）

青空市場が新たに3か所開設されました

土手ノ内二区（公営住宅下）



曙町（曙公園）



- 6月定例会の概要と議決結果・・・ 253
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・ 457
- 中間市議会からのお知らせ・・・・・・ 8

6月定例会の概要と議決結果

6月定例会の概要と議決結果（6月14日～6月28日）

令和4年第3回（6月）定例会におきましては、同意案2件、専決処分の承認7件、議案6件、意見書案4件が提出され、6月14日から6月28日までの15日間にわたり審議されました。6月定例会において審議された主なものについて、ご紹介します。

○ 修正可決

令和4年度中間市一般会計補正予算（第4号）

【歳出の主なもの】

・ 学校給食費物価高騰対策事業補助金・・・1,426万円 1,000円

令和4年4月から8月まで実施している給食費の値上げ分を市が補助する学校給食費物価高騰対策事業補助金について、令和4年9月から令和5年3月まで引き続き実施するものです。

【修正された事業】

・ 地域経済活性化対策キャッシュレス決済推進事業

・・・1億15万円（修正前）→ 0円（修正後）

最大20%分のポイントを還元する地域経済活性化対策キャッシュレス決済推進事業に係る経費は、「令和4年3月定例会においてスマートフォンを利用した30%のプレミアム付き商品券の事業予算が計上された際、スマートフォンの所有率の問題等、事業の企画段階において最初から対象外となる市民がおり、公平性・公平感が担保されない等の問題点が提起され、予算が減額修正された経緯があるが、それらの問題点が解決されないまま今回の事業予算が計上されている。」などの理由から1億15万円が減額修正されました。

○ 可決

令和4年度 中間市水道事業会計補正予算（第1号）

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び物価高騰の影響を受ける市民及び市内事業者を支援することを目的として水道基本料金の減免を実施します。

【減免の内容】

中間市内で中間市水道事業と契約中の約1万9,600戸に対し、口径に応じた基本料金を、令和4年9月請求分から令和5年1月請求分まで5か月間減免するものです。

○ 可決

中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

中間市介護保険条例の一部を改正する条例

今回の条例改正は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対して引き続き、国民健康保険税及び介護保険料の減免等を実施するものです。

6月定例会の概要と議決結果

市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
同意案第1号	中間市等公平委員会委員の選任について(菅尾 暁)	同意
同意案第2号	監査委員の選任について(武藤 淳)	同意
承認第4号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和4年度中間市一般会計補正予算(第2号))	承認
承認第5号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和4年度中間市一般会計補正予算(第3号))	承認
承認第6号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和4年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算(第1号))	承認
承認第7号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和4年度中間市住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号))	承認
承認第8号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市市税条例等の一部を改正する条例)	承認
承認第9号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
承認第10号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
第24号議案	令和4年度中間市一般会計補正予算(第4号)	修正可決
第25号議案	令和4年度中間市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第26号議案	中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
第27号議案	中間市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第28号議案	中間市市民の生命を守る地域づくり条例	原案可決
第29号議案	中間市道路線の認定について	原案可決

議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
意見書案第5号	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	原案可決
意見書案第6号	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	原案否決
意見書案第7号	「経済安全保障推進法」の廃止を求める意見書	原案可決
意見書案第8号	国内の食料自給率引き上げを求める意見書	原案可決

蛙田忠行議員

(日本維新の会)



福田市長の公・マニフェストについて

小中学校給食費の完全無償化を1期目の公約の目玉として掲げられ、速やかな実行実現を表明されたが、その後間もなく凍結方針を出されました。給食費の完全無償化公約は放棄するのか、守るのか、守るのであれば、いつまでに、どのような無償化を行うのかを伺います。

市長 中間市の財政健全化を進めていきながら、財政状況が好転し、給食費無償化が一時的ではなく、継続的に実施できる状況になったときに改めて取り組んでいきたいと思えます。また、無償化の方法としては、①小中学校全学年を完全無償

化にする、②全学年に給食費の一部を補助する、③中学生を先行して無償化するを考慮しており、継続的、持続的にできる条件を整え、今任期中に実施したいと考えています。

議員 市長就任以来、

5年が経つわけですが給食費無償化については、公約の目玉としていつまでですか、任期の3年以内

に「いつまでに、何をどこまでやるのか」それくらいの方針は出してしかるべきでないでしょうか。学校再編計画について

学校再編計画について

学校再編という難度の高い政策を進めるのであれば、市民の皆さんの声と真摯に向き合うことなどが必要と思えます。市民の方から寄せら

れた様々なご意見に対して教育委員会の回答は真摯に答えているとは思えません。市民の方をはじめとする学校関係者の意見をどのように集約し、どのように反映させるつもりであるのか、また、教育長の残任期間である6か月間でどこまで進められるのかを伺います。

教育長 本市の宝である子供たちの最適な

教育環境整備を充実させ、さらなる教育の質の向上を図ることができるよう、職務にまい進します。また、中間市学校施設再編基本計画の周知をしっかりと図っていくとともに、学校施設の配置を含んだ

学校施設整備方針案の策定に向け、小学校区での説明会を開催し、市民の方のご意見をとりまとめ、教育委員会としての方向性を決定します。

田口善大議員

(中間クラブ)



学校給食費の値上げについて

福田市長は1期目の選挙時、給食費無償化を公約としてい

ましたが、就任後、財政難を理由に実施を見送りました。保護者負担の軽減を謳いながら、今回の給食費値上げによる負担増を保護者に強い

姿勢は全く理解できません。給食費無償化、保護者負担の軽減を公約に掲げた市長が国の交付金を

値上げ分に充当し、保護者負担増を撤回したとはいえ、1度は保護者負担増を決定した市長の政治姿勢に疑問を感じざるを得ないのは、私だけではないと思えます。ふるさと納税に12億円もの寄附があり、寄附の使途に教

育環境の充実を謳っていないながら給食費に使用しない理由を伺います。

市長 ふるさと納税は寄附者のご厚意によるものであり、安定的な財源ではありません。給食完全無償化は継続的に行うべき施策であるため、

ふるさと納税を給食費に充当するのは不向きな財源だと思っ

ています。そのため、ふるさと納税を複数年で活用できる仕組みづくりを検討し、一時的ではなく、持続的に運用可能な財源が確保できるようになった場合には、給食費完全無償化を含めて、将来に必須となる事業を吟味したうえで計画的な事業展開に繋がっていき

議員 値上げを駄目だ

と言っているのではありません。今の社会情勢、物価高騰も踏まえ、値上げは致し方ないと理解していますが、給食費無償化を公約に掲げ、保護者負担軽減を謳われた福田市長が負担増になる部分を機械的に保護者に負担をお願いしたということに大変驚いています。確かに給食費は恒常的なものであり、ふるさと納税は臨時的なものです。だからこそ、国の交付金が交付される前に本市の財源で保護者負担分を軽減しなかったのか不思議でなりません。



配膳された給食

小林信一議員

(中間クラブ)



福祉対策の充実について

一般社団法人障害者自立支援機構のスペシャルサポーター

に市長が就任されましたが、市長として本市の福祉行政や障がいのある方々の現状をどのように理解し、社会的自立に向けた支援策をどのように考えているのか伺います。

議員 パラリンアート、

市長 スペシャルサポーター就任後、自治体初の取組となるパラリンアート第1号支部を本市に開設しました。この事業を通じ、障がいのある方々の社会参加、経済的自立を目指すことは、社会的自立に向けた取組として大変有効だと考えています。

いわゆる絵画による取組の参加や取扱いほどの程度ありましたか。

市長 今のところ取扱いはありませんが、徐々に支援活動が浸透しており、今後、始まっていくということですので。

議員 障がいのある方の就労の場・機会について伺います。

保健福祉部長 一般就労に向けた就労移行支援事業所が市内に2カ所、雇用契約を結ばず知識及び能力向上のための訓練を行う就労継続支援B型事業所及び雇用契約に基づき、働きながら一般企業就職を目指す就労継続支援A型事業所がそれぞれ11カ所あります。しかし、市内支援事業所では就業される

方の確保が難しく、定員割れの続く事業所も潜在しているの

議員 学校再編計画に

より、再編後の学校施設を障がいのある方々の就労施設として活用することについて伺います。

市長 学校の校舎及び敷地は地域振興や本市のまちづくりの視点から、活用策を検討し、再編後の学校施設を障がい者就労施設として活用することを検討します。

議員 学校再編後の就労施設の活用について、他の自治体に前例がなければ、中間市が前例となることで、さらにまちの良さがでるのではないのでしょうか。市民が本当にこのまちに住んで良かったというまちづくりを推進してほしいと思います。

阿部伊知雄議員

(公明党)



中間市内の小中学校におけるオンライン授業の現状について

家庭と学校とを結びオンライン授業ができる通信環境の整備の状況を伺います。

議員 オンライン授業が可能な児童生徒は、全体の96%です。

議員 家庭にインターネット回線などの通信環境がない子どもへの対応を伺います。

学校指導課長 通信環境がない場合は、各学校に16台ずつ配置しているモバイルルータを、希望により貸し出しています。

議員 オンライン授業を行うに当たっての学校の学習指導体制について伺います。

学校指導課長 学級閉鎖時等に授業のライブ配信等を一部行

で、今後、デジタル教科書への理解を深め、必要な児童生徒に活用できるように取り組みます。

子ども家庭庁創設に対する中間市行政組織の対応について

令和5年4月に国にこども家庭庁が発足する予定ですが、この創設にあたり、中間市の行政組織はどのように対応するのか伺います。

市長 現段階では明確な組織体系への反映に至っていません。しかし、こども家庭庁が子ども関連の政策を一元的に担うことから、今後、本市においても円滑に業務が遂行できる体制整備を図ります。

議員 中間市に縁があつて生まれてきた子どもたち一人一人が幸せを実感できる環境を整えていく努力を私たち大人がしていきたいと思

大和永治議員

(新風クラブ)



中間市のペーパーレス化について

議員 ペーパーレスの直接的な効果として、ペーパーの数と費用、印刷費がどれくらい削減されているのか伺います。

議員 システムはどの程度活用されているのか伺います。

総務部長 令和2年度の起案等の文書の登録件数は7万5529件、このうち電子決裁件数は7万2954件で電子決裁率は約97%です。

議員 ペーパーレスの直接的な効果として、ペーパーの数と費用、印刷費がどれくらい削減されているのか伺います。

総務部長 令和3年度に公共施設管理課において購入したコピー用紙の枚数は212万枚で、平成29年度と比較すると約27%、78万枚を削減しています。実費用については、市場価格及び原価高騰により購入単価が平成29年度比で35%上昇しています。令和3年度では購入費が151万円であり、平成29年度と比較して約53万円削減しています。印刷費については、令和3年度の複合機印刷枚数を平成29年度比で約76万枚、約290万円

削減しています。

議員 今のところは印刷方法の工夫や契約の見直しなど職員の努力でカバーしているということですが、根本的な解決としてはタブレットを活用して会議資料の配布などの口スを削減し、効率化を図るためにもペーパーレス化を更にもう一歩踏み込んで進める必要があると考えます。本会議でも多くの方々が参加されており、ペーパーを刷った分、かなりの税金が使われています。職員の意識一つ一つで税金のより素晴らしい使い方ができると考えますので、一丸となってペーパーレス化に取り組んでいただきたいと思っています。



タブレット端末

掛田るみ子議員

(公明党)



投票率向上と期日前投票所の増設及び選挙管理委員会事務局の在り方について

議員 以前から期日前投票所の増設について要望書を提出しており、令和4年7月10日執行の参議院選挙に際してハピネスなかまに期日前投票所を設置することを改めて要望しましたが、今回も期日前投票所の増設は見送られました。中間市の投票率について伺います。

選挙管理委員会事務局長 福岡県下における令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙の投票率は48.29%、投票率順位は福岡県下60市町村中60位です。

議員 中間市の投票率が低い理由について伺います。

選挙管理委員会事務局長 一般的には天候や選挙の争点等様々な要素が総合的に影響すると言われています。しかし、本市に限らず、地方選挙の投票率は長期低落傾向が続いていることから、政治への関心が薄らいでいることも影響していると考えられます。

議員 私は本市の高齢化率が高いということが大きな要因ではないかと考えています。市の面積からすれば期日前投票所は1つで十分かもしれませんが、便利な場所にはありません。期日前投票所を増設することは高齢化率の高い中間市にとって必要なサービスではないでしょうか。7月の参議院選挙終了後、速やかに

選挙データを分析し、中間市の投票率及び市民の利便性向上のために期日前投票所の増設に取り組んでいただけますか。

選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会で協議したいと思えます。

小中学校再編整備に伴う自治会組織体制と避難所について

学校再編の際、小学校単位のまちづくり協議会の再編はあるのか、また、主に小学校に設置されている同協議会の事務所の今後について伺います。

安全安心まちづくり課長 現時点で組織の区域、名称等の変更は想定していません。

総務部長 校区まちづくり協議会の活動拠点となる事務所は学校施設再編に関わらず、確保しなければならぬと考えています。

柴田芳信議員

(日本共産党)



中間市におけるコロナ
感染状況と対応等につ
いて

ワクチン4回目接種について伺います。健康増進課長 3回目接種後の5か月経過後6月10日から開始しています。申込は24時間受付のインターネット、市役所の窓口受付、聴覚障がいの方専用につアックスによる受付体制を整備し、接種はなかまハーモニーホール、保健センターで実施しています。

健康増進課長 所長を

はじめ合計18名で業務に従事しています。集団接種時は、全庁体制により、職員を配置し、外部委託や接種医療機関等の関係機関の協力により、ワクチン接種事業は順調に進捗しています。

ハピネスなかまの非常
用発電機について

ハピネスなかまの非常用発電機の問題について現状を伺います。

福祉支援課長 令和3

年度末の消防用設備等点検では手動でも始動できない状況になっていきます。今後の対応については、総合会館に係る総務課長で構成する総合会館あり方検討会議において協議し、また、新たにコンサ

ルトアント会社に設計委託をする準備も進めています。非常用発電機設置までの間、各フロアに消火器を

追加設置及び消防訓練の強化により、非常時の対応に努めて参りたいと考えています。

議員 旧生涯学習センターの発電機について伺います。

生涯学習課長 ハピネスなかまと同様に避難所としての機能を持たせることを検討しており、停電時の施設の照明や電源等の確保が必要などから、非常用発電機の容量を見直す必要があります。

議員 施工時期について伺います。

保健福祉部長 コンサルタント会社の設計に委ねる部分が大きいため、現在のところ、明確なお答えはできません。

田口澄雄議員

(日本共産党)



学校給食費の無償化に
ついて

学校給食の値上げについて、今年度は国の予算で賄えましたが、来年度の予定について伺います。

教育部長 物価高騰の

状況の推移や国の政策の動向を見据えながら新たな支援策を探っていききたいと考えています。

議員 市長は1期目の

選挙公約に小中学校給食費の完全無償化を掲げました。私は政治家にとって公約は非常に重たいもの

と思っています。給食費無償化の実施に向けて何もしていない理由を伺います。

市長 市長就任時、市

の財政が思いのほか厳しいのが判明したため、まずは財政健全化に向けた取組み

を最優先に考えまし

た。給食費完全無償化はやめたのではなく、一旦、中止しています。

議員 市長になって初めて財政の厳しさを

知り、約束したことができないのは、とんでもない話だと思います。給食無償化のやる気はあるのか伺います。

市長 何としても実現

していきたいと思っています。

中間市財政の現状につ
いて

令和4年度予算編成方針では財政指標や基金積み増しができたと本質的な改善ではないとされていますが、令和3年度は10億円近い財源が

発生しています。こ

の理由を伺います。総務部長 効果的な予

算執行により、歳出の増加及び歳入の減少よりも歳入の抑制及び歳入の増加が上回った結果だと考えます。

議員 令和元年度の

基金総額は10億5000万円で、令和4年度では57億2700万円まで増やすことになって

います。こうし

た中、衛生費や学校管理費の激減が目立ちます。私は福祉を削って財政

再建だけを言い立

ていてはいいが、いかがでしょうか。

市長 魅力ある住み

やすい街づくりを推進していかねればならないと考えますが、重要な

のは財政的な基

礎体力ですので、財政健全化なくして住民福祉の向上なしという私の信念に変わりはありません。

《 中間市議会からのお知らせ 》

人事紹介 《敬称略》

堀川水利組合議会議員	勝原 利介
中間市等公平委員会委員	菅尾 暁
監査委員	武藤 淳

議会の生中継を公共施設で行っています。

議会が中継される施設



議会の生中継

なかまハーモニーホール、地域交流センター、ハピネスなかま

※議会開催日が休館の施設では、中継は行っていません。



次の定例会

次の定例会は、8月30日(火)から開催します。

議員の一般質問は9月1日(木)午前10時から行います。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

問合せ：議会事務局 ☎ 246-6220



会期日程 QR コード



市議会会議録

市議会会議録は閲覧ができます。

市議会だよりは、本会議の質問や答弁を要約して掲載していますので、詳しい内容は、会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局や情報公開コーナー、市民図書館で閲覧することができます。また、中間市のホームページにも会議録を掲載しています。



会議録 QR コード

残念ながら、水と空気には印刷できません…

<http://www.hidaka-print.com/>



(有)日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間一丁目 4-16 TEL (093) 245-0214 FAX (093) 244-8760



藤木建設株式会社

- ◆ 土木建築工事業 ◆ 下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆ 管・水道施設工事業 ◆ とび・土工事業 ◆ 舗装工事業
- ◆ 土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階
TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158

